

榎野川河口域・干潟自然再生協議会

ニュースレター No.16

2020年3月発行

トピックス

『ふしの干潟いきもの募金』の運用開始

今年度も多くの方から、ご寄附をいただきました。心のもったご寄附をいただき、誠にありがとうございます。4月から「ふしの干潟いきもの募金」を活用した活動支援の取組を開始し、企業様・ふしの干潟ファンクラブの皆様にもご協力いただき、委員による保全活動・調査研究・環境学習・PRなど、活動が活発化しています。

＜ご寄附をいただいた団体＞五十音順・敬称略

あいおいニッセイ同和損害保険㈱／榎野川漁業協同組合／山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所

＜ご寄附の様子＞

＜支援対象活動例＞



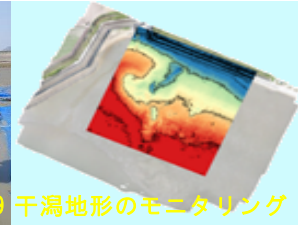
榎野川漁協様から



あいおいニッセイ同和損保様から



榎野川自然再生活動2019



干潟地形のモニタリング



ふしの干潟生きもの調査団

＜活動のPR＞

＜ふしの干潟ファンクラブ・企業様のご協力＞



持続可能な里海づくりWGによる出展による活動PRや寄附



榎野川流域での保全活動や調査研究でのご協力

自然再生活動等の参加者の増加

企業様・ふしの干潟ファンクラブ・協議会委員等の皆様に御協力をいただき、イベント開催数も増加し、流域での様々な自然再生活動等の参加人数が過去最高となりました。

(右表は、ふしの干潟いきもの募金やふしの干潟ファンクラブの導入前後での比較)

| 区分 | 2017年 | 2019年 |
|-------------|-------|--------|
| イベント開催数 | 5回 | 16回 |
| イベント参加人数 | 593人 | 1,047人 |
| (うち環境学習子供数) | 150人 | 288人 |

自然再生協議会全国会議の開催

9月に全国の自然再生協議会や、環境省・専門家等を交えて、意見交換や情報交換する全国会議が、榎野川流域で開催されました。榎野川流域での自然再生活動の成果や、「ふしの干潟いきもの募金」や「ふしの干潟ファンクラブ」などの先進的な取り組みを全国に発信しました。



榎野川流域連携促進協議会が「手づくり郷土賞」大賞部門を受賞（国土交通大臣表彰）

榎野川流域連携促進協議会の活動が、「もり・かわ・うみを育むふるさとの流域づくり」として、国土交通大臣表彰である「手づくり郷土賞（大賞部門）」を受賞しました。12月に受賞を記念した発表会が行われ、1月に認定証授与式・榎野川源流の碑での植樹式・四季の森の現地視察が行われました。



国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）連携事業の認定

本協議会の「榎野川河口干潟等における里海再生活動」が、「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する、山口県内初の事業として認定を受けました。



榎野川河口干潟再生活動2019 ～やまぐち森・里・川・海自然再生プロジェクト～

420人
参加者

- 開催日：2019年4月20日（土）
- 主催：榎野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
- 協賛：あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店
- 協力：あいおいニッセイ同和山口支店プロ会、(株)伊藤園山口支店、積水ハウス(株)山口工場、水産大学校、山口大学、山口県立大学、榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- 備考：ふしの干潟いきもの募金支援対象事業
- ◆ 榎野川の恵みを味わう試食会



活動前に恒例のあさり汁と山菜の天ぷらがふるまわれ、あゆ飯も販売されました。

◆ 干潟耕うん・あさり再生活動



干潟耕うんは15年目になるシンボリックな活動。干潟を耕し、生き物の生息に適した底質環境にします。450㎡を耕し、あさり再生のための被覆網を張り、老朽化した網を交換しました。被覆網は、鳥や魚のエサになる生き物を増やすためにも重要です。

◆ 募金活動



募金活動とふしの干潟せんべい（寄附付き商品）を販売しました。

◆ 潮干狩り・生き物観察会



潮干狩りと生き物観察を楽しみました！

クロツラヘラサギを守るための海岸清掃・潮干狩り



- 開催日：2019年6月1日（土）
- 主催：NPO法人野鳥やまぐち、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所、榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- 協力：あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)伊藤園、積水ハウス(株)山口工場
- 備考：サントリー世界愛鳥基金助成事業、海ごみゼロウィークイベント

◆ 海岸清掃



絶滅危惧種であるクロツラヘラサギの飛来地である、きらら浜自然観察公園横の土路石川の河口を2か所に分かれて、210人の参加者で清掃しました。可燃ごみ78.3kg、不燃ごみ59.6kg、PET等プラごみ47.2kgの合計185.1kgを回収しました。

◆ 潮干狩り、ふるまい



海岸清掃終了後、参加者は潮干狩りを楽しみ、あさり汁とおにぎりのふるまいもありました。

185kg
回収ゴミ

カブトガニ幼生生息調査・生物観察会



855匹
発見数

- 開催日：2019年8月31日（土）、2019年9月2日（月）
- 主催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- 協賛：あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店、(株)伊藤園山口支店
- 協力：あいおいニッセイ同和山口支店プロ会
- 備考：ふしの干潟いきもの募金支援対象事業

山口湾は「生きている化石」カブトガニが生息する貴重な地域です。山口カブトガニ研究懇話会の原田代表が、カブトガニWGのグループリーダーとなり、山口大学やボランティアの協力をを受け、生息調査を行っています。今年度も県内外から多くの方に参加いただき、多くの個体を発見し、若齢の割合が高くなる傾向もみられます。調査後にはかき氷のサプライズプレゼントもありました！生物観察会も併催し、子供達がカブトガニ等の干潟の生物に触れる貴重な機会となりました。



| 場所 | 開催日 | 調査参加者 | 生物観察会参加者 |
|----|------------|-------|----------|
| 長浜 | 2019年8月31日 | 60人 | 49人 |
| 南潟 | 2019年9月 2日 | 11人 | — |



環境学習活動

二島小学校の干潟での総合学習

7月と10月に協議会委員の協力により、二島小学校の5年生が干潟の生き物を学びました。その後、学んだ成果を地元で発表されました。干潟などが保全されていることの大切さや、地元への愛着のきっかけになれば嬉しいです。



住民協働型の干潟生物マップ作り事業

9月に①干潟の生物図鑑、②生物の情報等を検索するアプリを作成するため、「ふしの干潟生きもの調査団」として、住民参加型で生物調査等を実施しました。

- 備考：ふしの干潟いきもの募金支援対象事業



野鳥の教室 @きらら浜自然観察公園

10月に山口市環境政策課が開催。この時期にしか見られないノビタキのほかに、ミサゴ、ホシハジロ、ウグイスなど様々な野鳥を観察しました。



クロツラヘラサギ国際シンポジウム

11月にNPO法人野鳥やまぐちが国内外の関係者を交えてクロツラヘラサギの保全の取組や課題等を共有する国際シンポジウムを開催しました。



榎野川流域の活動紹介



榎野川源流の碑 @荒谷ダム

流域連携のシンボルの碑が建立10年を迎えたため、新たな碑を設置【榎野川流域連携促進協議会】

四季の森の整備

榎野川の源流を守る会が市に寄贈した森林を整備【仁保自治会】

森林保全 @マロニエの森

森・川・海の保全団体の冬季交流活動【榎野川流域活性化交流会】

榎野川水系クワパーン

7月に河川のゴミを一斉清掃【榎野川漁協・山口市等】

水辺の教室 @平川河川公園

ふしの川漁協まつりで、河川環境を考える環境学習会を開催【山口市環境政策課】

あゆ産卵場造成

森・川・海の保全団体の秋季交流活動【榎野川流域活性化交流会】

野鳥のモニタリング調査

山口湾に飛来する渡り鳥等の飛来数を調査【NPO法人野鳥やまぐち】

希少鳥類の保全事業

負傷したクロツラヘラサギを保護し、野生復帰を目指す事業【NPO法人野鳥やまぐち】

ヨシ焼き

きらら浜自然観察公園内のヨシ原を焼き払い、野鳥等の生息環境を保全【きらら浜自然観察公園】

環境学習活動

干潟の生き物観察会、バードウォッチング、あさり姫プロジェクト等の学習会を開催【環境学習WG・市環境政策課等】

干潟耕耘・あさり再生活動・海岸清掃

生き物の生息環境を保全・再生するための活動【榎野川流域連携促進協議会・県漁協吉佐支店山口支所】

森林保全 @宇津木の里

7haの森林を活動拠点として森林体験イベントなどを実施【宇津木の里】

フシノのお殿様・お姫様

工芸品「大内人形」を模した流域連携のシンボルを山口駅に設置【榎野川流域連携促進協議会】

ホテルの生息環境保全

草刈りや河川清掃などを実施【一の坂ほたるの広場の会】

ナルトビエイ駆除 @百間橋

漁業に深刻な被害を与えるエイを駆除【榎野川干潟を守る会(榎野川漁協)】

カブトガニ産卵・幼生調査

夏季に産卵のために海岸を訪れるつがいなどを調査【山口カブトガニ研究懇話会・カブトガニWG】

あさり販売 @ハーモニー朝市

山口湾で採れたあさりなどの海産物を販売【県漁協吉佐支店山口支所】

学術研究・環境調査・生物調査

干潟環境や生き物の生態等に関する研究や調査【山口大学・水産大学校・瀬戸内海区水産研究所・県環境保健センター】

自然再生協議会会議

2019年4月20日に第26回会議、2020年2月24日に第27回会議を開催しました。第26回会議では、第1回ふしの干潟いきもの募金の支援対象活動の説明と承認、第27回会議では、協議会委員等から調査研究や支援対象活動の発表をいただきました。

- 二枚貝モニタリング調査及び藻の付着影響調査について(県環境保健センター 環境科学部 川上専門研究員)
- 榎野川河口干潟の地形・流状および土砂環境モニタリング(山口大学大学院 創成科学研究科 白水助教)
- 干潟域を生活史で利用する魚類の生態と成育場の生息環境に関する研究Part1(瀬戸内海区水産研究所 重田委員)
～山口湾の干潟域におけるクロダイの食性と炭素・窒素安定同位体比 -アサリ等砂浜性二枚貝の重要性とその資源への負のスパイラル～
- 干潟域を生活史で利用する魚類の生態と成育場の生息環境に関する研究Part2(瀬戸内海区水産研究所 辻野主任研究員)
～山口湾の干潟域におけるアサリと線虫の関係-被覆網設置後のマクロベントスと線虫の変化線虫を使った干潟評価～



【お問い合わせ先】

榎野川河口域・干潟自然再生協議会 事務局(山口県環境生活部自然保護課)

TEL: 083-933-3060 FAX: 083-933-3069 Mail: a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

※ 会議資料やイベント情報等は、山口県自然保護課、山口市環境政策課のホームページで公開しています。

Facebook

県HP

